

原料費調整制度に基づく2026年5月検針分のガス料金について

1. 2026年5月 検針分の料金表

- (1) ガス小売供給約款契約料金表（福島支社・茨城支社・茨城南支社地区）
各月のご使用量に応じてAからDの各料金表が適用されます。

	(税込)			
	料金表A	料金表B	料金表C	料金表D
月間使用量 (m ³)	0～24	24～102	102～501	501～
基本料金 (円/月)	913.00	1,193.50	1,468.50	6,383.63
調整単位料金 (円/m ³)	215.48	203.79	201.10	191.30
【参考】前月調整単位料金 (円/m ³)	(209.11)	(197.42)	(194.73)	(184.93)

(2) 標準家庭における影響

	(税込)		
1か月のご使用量 [※]	2026年5月ガス料金	2026年4月ガス料金	差額
23m ³ (45MJ)	5,869円	5,722円	147円

※1か月のご使用量については、2016年度から2020年度のご家庭1件当たり使用量の平均値です。

■ 標準家庭料金の計算方法

$$\text{2026年5月ガス料金 (円: 税込)} = \text{基本料金 (円)} + \text{単位料金 (円/m}^3\text{)} \times \text{ご使用量 (m}^3\text{)}$$

$$5,869 = 913.00 + 215.48 \times 23$$

$$\text{単位料金 (円/m}^3\text{)} = \text{基準単位料金 (円/m}^3\text{)} + \text{単位料金調整額 (円/m}^3\text{)}$$

$$215.48 = 208.10 + 7.38$$

2. 原料価格の変動

(1) 原料価格の実績

		(円/t)	
算定期間		2025年12月から2026年2月	
平均原料価格	卸供給	86,350	
	LNG	86,240	
	LPG	83,320	
		86,320 (a)	
基準平均原料価格		78,400 (b)	
差額 (a-b)		7,920	

※LPG価格、LNG価格はともに貿易統計値

(2) 単位料金調整額の算定方法

■ 平均原料価格の算定

$$\text{平均卸供給価格} = 86,350\text{円/t} \times 0.5930$$

$$\text{平均LNG価格 (貿易統計値)} = 86,240\text{円/t} \times 0.4021$$

$$\text{平均LPG価格 (貿易統計値)} = 83,320\text{円/t} \times 0.0053$$

$$\text{平均原料価格} = 86,320\text{円/t} \quad (\text{10円未満四捨五入})$$

■ 原料価格変動額の算定

$$86,320\text{円/t} - 78,400\text{円/t} = 7,900\text{円/t} \quad (\text{100円未満切り捨て})$$

■ 単位料金調整額 (m³あたり調整額) の算定

$$\text{単位料金調整額} = 7,900\text{円/t} \div 100\text{円/t} \times 0.085\text{円} \times 1.10$$

$$= 7.38\text{円} \quad (\text{小数点第3位以下切り捨て})$$

【参考】原料費調整制度の概要

- 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を毎月調整する制度です。
- 「基準平均原料価格(78,400円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヶ月前から3ヶ月前の3ヶ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円/tにつき、ガス1m³当たり0.085円(税抜)の単位料金を調整いたします。
- 原料価格の変動は貿易統計の実績によります。